

中越地震から15年・・・

魚沼砂防塾を開催しました。

11月23日(土・祝)に「魚沼砂防塾」を開催しました。今年の中越地震から15年の節目の年になります。この間、地域の復旧・復興は進み、安全性が高まった一方で、人々の防災に関する意識は薄れてきています。当時の災害発生箇所の見学や、講師の方のお話を通じ、改めて自然災害の恐ろしさとこれに対する心構えを考えていただきました。



地形模型シアター(上)や、展示物の見学(下)を通じ、中越地震の被害やその後の復興の様子を学んでいただきました。



木籠集落水没家屋を見学後の郷見庵にて地元農作物をお土産に購入される方も



山古志復興交流館おらたるの中庭で記念写真



NPO法人中越防災フロンティアの田中理事長からは、「中山間地の地域づくりと今後の課題」と題した講義(左)を、湯沢砂防スペシャルエンジニアの右近代表からは、当時の天然ダム対応について講義と現場説明(右)をしていただきました。

参加者の方からは、「地域のボランティアに参加し、地域の方々とのつながりを持ちたい」、「現場見学と講義で理解が深まった」などの感想をいただくなど、高い評価をいただきました。

魚沼砂防塾は来年もまた開催予定です。是非、ご参加ください。